



「道具の使い方～Part2」

令和4年10月(通算第118号)

手軽で便利な道具は使い勝手がよく、準備や実際の作業で手間のかかる道具よりも使いたくなりますが、作業環境に適した道具を選び、正しく使うことが、安全な作業に繋がります。

発行：
公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

この道具、この場所で使うの？!

脚立(四脚)

- ◆接地面がデコボコ(平坦ではない)の場所ではありませんか？
- ◆四脚脚立は、平坦な場所で使用する道具です
 - ・植木剪定の現場では、地面に凹凸がある庭などで**四脚脚立**を使うと、4本脚全てが接地しにくいため安定性が悪く、ぐらつきやすくなります
 - ・脚が邪魔をするので、樹の幹に近づけにくく、身を乗り出すことになります
 - ・一方、**三脚脚立**は、必ず3本脚の全てがしっかり接地するため左右の揺れに強く凹凸の地面でも安定して接地できます(ただし法面での使用は厳禁です)
 - ・構造上、**三脚脚立**は**四脚脚立**よりも樹に接近して使いやすいです
 - ・植木現場以外でも用務や家事援助等で、蛍光灯交換など高所作業時に四脚が多用されますが、4本の脚全てが確実に接地しているか、確認を忘れないでください

チェーンソー

- ◆伐採した枝を小分けにする際、手鋸代わりに使っていませんか？
 - ・どんなに小さくても、チェーンソーはチェーンソーです。キックバック等による大怪我の可能性がある取扱いの難しい道具なので、当財団ではチェーンソーの使用はひかえていただくようお願いしています
 - ・やむを得ず使うときは、必ずチャップス、ゴーグル、グローブ、ヘルメットなど安全装備の着用が必須です